

通貨ペア	時間軸	記入日時	ダウ	RSI25	分析コメント
EUR/USD 1.31864	月足	12/12/22 7:00	下げ	上げ	2010年6月7日の安値1.18757を更新することなく、7月24日の年初来安値1.20422から反発局面であるが、11月からは、短期サインのレジスタンスを横抜けたため 1.35手前までの上昇余地 ができた。このまま順調に上昇すれば、短中長期サインのゴールデンクロスも数か月後に示現する見込みで、本格的な上昇につながる可能性もある。
	週足	12/12/22 7:00	下げ	下げ	2008年7月15日の史上最高値1.60380からの戻り高値である2009年12月2日の1.51436及び2011年5月4日の1.49398以降、ボダー・アラートは下げダウが継続している。短期・中期・長期サインの関係もショート方向へのパーフェクト・オーダーを形成していたが、短中期サインのゴールデンクロスが示現し、強気転換している7月24日の年初来安値1.20422からの戻り高値の1.31719(9月17日)を、先週、3か月ぶり上抜き、再度上昇局面に入ったが、 1.33099のボダーラインがレジスタンス となり、今週の高値は水曜日の1.33077止まりである。
	日足	12/12/22 7:00	上げ	上げ	今週、ついに短中長期サインがロング方向へのパーフェクトオーダーを示現し、強いロングトレンドに転じたが、金曜日に押し目を形成している。しかし、ローソク足の実体は、トレンドゾーンに留まり、バンドウォーク中の押し目と見て良いだろう。レジスタンスラインは近くにはなく、今月中は 長期ベルトの下端の1.35までの上昇余力 がある。月足と整合する状況であるが、週足のレジスタンスをこなし1.33乗せを確実にしないと余力を活かすことはできない。
	4時間足	12/12/22 7:00	上げ	上げ	水曜日に1.33077の高値をとった時点で、RSI(14)が90超とピークアウトしており、その後の急落は致し方ないところ。木曜日の戻り高値は1.33目前に迫ったが、RSIがダイバージェンスを示現し、さらに大きな押し目をつけにいった。現在、ローソク足の実体は、アラートラインの下に潜り込んでいる状態であるが、短期サインにサポートされ、反発して大引けを迎えた。最終レジスタンスのアラートライン1.32315を上抜くとボリンジャーバンドのトレンドゾーンに復帰することになり、再度1.33チャレンジとなるだろう。RSIはリバーサルを示現しており、反発しやすい形である。
	1時間足	12/12/22 7:00	上げ	上げ	金曜日の押し目の影響で、短中期サインはデッドクロスに転じているが、現状は反発局面である。4時間足と同様で最終レジスタンスのボダーラインの1.32315を上抜ければ、強い相場が戻ってくる。RSIもやはりリバーサルを示現しており、反発しやすい形である。
	15分足	12/12/22 7:00	下げ	下げ	現状では、まだ短中長期サインの関係で、ショート方向へのパーフェクトオーダーが続いている。ボダーラインと中期サインが重なる1.31949を上抜いていけば、徐々に上値が軽くなるだろう。まずは1.2台の定着が課題。
	5分足	12/12/22 7:00	上げ	下げ	15分に先行して、短中期サインはゴールデンクロスしている。今後は、短中期サインとローソク足の実体が長期サインを上抜いていくことで上値が軽くなるだろう。
	総評 仕掛けのチャンス				